

東京オリンピック・パラリンピックホストタウン交流事業について

○経緯と対応

- ⇒令和4年度は、東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進協議会（事務局：観光交流課）を中心に、仲介事業者と連携しながら事業を進めてきた。
- ⇒令和5年度は、スポーツ振興の目的のため、所管を生涯学習課に移管した。
- ⇒生涯学習課は、令和5年度事業を進めるために、仲介事業者と協議に入ったが、予算、事業スケジュール等の面で折り合いがつかず、事業連携は断念することとなった。
- ⇒事業連携の解消を受けて、庁内関係課（生涯学習課、観光交流課、企画課）で今後の対応について協議を行った。

○令和4年度に想定していた令和5年度予算内容

- ①ムーア・アロハ財団交流事業業務委託（市直営） 1,918千円
 - ・市内中学生5名をハワイへ派遣し、ムーア・アロハ財団のプログラムを体験
- ②東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進協議会補助金 3,510千円
 - ・選手受入れ事業 2,055千円＝USAサーフィン選手受入れ経費
 - ・ホストタウン交流調整 650千円＝コーディネート調整経費
 - ・意識醸成事業 300千円＝サーフィンイベント（FunTheMental）
 - ・会議費 144千円＝実行委員会委員報酬等
 - ・事務局費 361千円＝旅費、燃料費、消耗品費

○3課協議における今後の対応に向けた基本的な考え方

- ①オリパラホストタウン交流事業を引き継ぐ事業なので、「サーフィン」をベースとした事業を展開する。※マリンスポーツをどこまで広げるかは継続検討
- ②下田市のサーフィン関係者等の参画を得て組織している「東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進協議会」を、官民協働による「チーム下田」と位置づけ、活動の中心に据える。※仲介事業者に頼らない事業執行
- ③現行の予算、計画事業は、できる限り実施する方向で検討する。
 - ※推進協議会のネットワークを活用し、別のアプローチで事業実施を目指す。
- ④牧之原市との交流事業は、今後も継続する。
 - ※まきのはらジュニアズアクションクラブとの関係は引き続き検討する。

○経過報告

- 1) 東京オリンピックパラリンピックホストタウン下田市推進協議会(7/4)
- 2) 下田中学校PTA運営委員会(7/5)⇒保護者宛文書配付(7/7)
- 3) 下田市議会全員協議会(7/11)

○7/4開催 東京オリンピックパラリンピック

ホストタウン下田市推進協議会第10回運営委員会での意見

- ・代替事業として、日本に2校しかない中学校のサーフィン部である宮崎県青島中学校との交流や大会等はできないか。
- ・アロハスピリットは本来日本人が持つ精神に通じるものがあり、ジャパンスピリットとして外に発信したい。下田でサーフィンを学べば世界に飛び出していけるような仕組みをつくりたい。
- ・下田中学校サーフィン部は注目されている。外国を目指すのも良いが、学校教育を地盤に、足元を固めてサーフタウンに繋げていってはどうか。
- ・市内の他のマリンスポーツを含めた下田ならではの事業を実施できないか。
- ・下田市出身で東京オリンピック日本代表コーチの大野修聖氏をもっと活用すべきでは。
- ・カリッサ選手との関係性はできれば維持したい。

○令和5年度の事業変更（チャレンジ）

令和5年度で計画していた組織、予算について、以下のとおり組み替え、修正を行い、当初の目的に沿った事業の年度内執行を目指すものとする。

①ムーア・アロハ財団交流事業業務委託（市直営） 1,918千円

⇒予算は当面維持、実施方法が固まり次第、予算の修正（名称変更等）又は削除

- ・市内中学生（人数は再調整）の派遣交流プログラムを検討
- ・派遣交流先は、「推進協議会」のネットワークを活用し、国内外で検討

◆事業内容＝市内中学生による国内外のサーフィン交流を検討

（案）：国外＝ハワイ等、国内＝宮崎県等

②東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進協議会補助金 3,510千円

⇒予算は維持、事業内容については再検討

- ・選手受入事業 1,011千円＝渡航費・移動費・宿泊料他(上限3名)
 - ※ 受入れ選手は、「チーム下田」でアメリカ人の有名サーファーを調整中
 - ◆事業内容＝サーフィン教室等（スポーツ振興くじ助成金対象事業）
- ・文化交流事業 644千円＝会場使用料・文化体験費・活動記録撮影費他
 - ※ サーフィン教室参加者を中心に募集して受入れ選手との文化交流
 - ◆事業内容＝子ども達との文化体験(お寿司・お菓子づくり等)交流事業

・意識醸成事業 1,350 千円＝サーフタウン計画策定費用・イベント経費

※ サーフタウン基本構想（仮称）作成準備 1,150 千円

＝計画策定に向けた調査、研究、機運醸成

※ サーフィンスクール・サーフィンアート展（イベント開催助成）200 千円

・会議費 144＝必要経費として確保

・事務局費 361＝必要経費として確保

◎「サーフタウン基本構想（仮称）」とは・・・

・東京オリンピックパラリンピックホストタウン下田市推進協議会において、オリンピックパラリンピックのレガシーとして、サーフィン（マリンスポーツ）を活かしたまちづくりを下田市の明確なビジョンとして提案するため、「下田市サーフタウン基本構想（仮称）」として策定するもの。

③その他事業(検討中)

・下田市サーフィン大会の開催(中体連の代替事業的) ※牧之原市との交流

・宮崎県青島中学校及び牧之原市とのサーフィン交流事業

○令和6年度以降のスキーム

・令和5年度は、計上済みの予算の枠を優先して事業検討を行ったが、令和6年度以降については、令和5年度の状態を点検しながら再検討するものとする。

・ホストタウン事業も含めた、市のスポーツ関連課題を包括的に協議できる組織の立ち上げを準備。関係各課、民間団体等と連携し、課題解決及び事業推進を図る。来年度、『下田市スポーツ推進計画（兼スポーツ施設整備計画）』策定予定。

東京オリンピック・パラリンピックホストタウン交流事業今後のスケジュール

事業名	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
選手受入				選手受け入れ（調整中）					
機運醸成 イベント支援				★（開催予定） サーフィン大会 [対象:児童・生徒] 静岡県内(伊豆)			アート展等随時開催		
サーフィン まちづくり 作業部会	事業者との 事前調整		★9/19 ワークショップ	関係者集めたWS、 先進地視察等					★年度内に部 会案策定
生徒派遣			・派遣先選定 ・学校、派遣先との調整			★時期未定 国内外含め検討中			
その他	7/4 ホストタウン 推進協開催		9/30-10/1 アロハ シャワー	10/28-29 Sea & Rainbow	サーフィンまちづくり作業部会も含めた スポーツ関連総合会議立ち上げ準備				